

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	214	学校名	仙台市立中田中学校	校長名	鈴木 文治
------	-----	-----	-----------	-----	-------



1 取組のタイトル, テーマ

「SDGs について考えよう, SDGs 活動を1か月実行してみよう」

2 取組の紹介

今年度, 中田中学校では第2学年の総合的な学習の時間でエコ・スクール活動を実施しました。中学2年生になり野外活動や, 職場体験活動を通し自然環境に触れることや進路, 様々な職業について学習しました。

これから持続可能な社会の実現に向け, 自分たちにできることや, 学校でできることを学級の班からクラスで考え, 学年で“1か月SDGs活動”として実行しました。

東京書籍

『EduTown SDGs -わたしたちがつくる未来-』
→SDGs 1～17のクリップ鑑賞

班活動

→課題や自分, 学校でできることを考える



1ヶ月SDGs活動

SDGs No.	活動内容
No.3 すべての人に健康と福祉を	ペットボトルキャップの回収
No.7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	節電・節水・省エネチャレンジ →学年委員, 班長を中心に電気を消す
No.13 気候変動に具体的な対策を	→水を出しっぱなしにしない, バケツを使う
No.12 つくる責任つかう責任	ごみの分別 →間違った場所に捨てていないか確認
No.14 海の豊かさを守ろう	→ごみを捨てに行くときに確認



“1か月SDGs活動”として実施した内容は, 身近にできる小さなことですが, それだけに実践しやすく, 学級委員の声掛けもありながら生徒たちは意識しやすい内容になりました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

学習前

- ・あまり気にしたことはなかった・SDGsのそれぞれの問題は何が原因かよくわからない
- ・SDGsのそれぞれの内容がよくわからない・あまり自分たちにできることはない
- ・SDGsの問題は大丈夫だろう・SDGsは難しい課題がたくさんあり解決は難しいのではないかな
- ・誰かがやってくれるだろう

学習後

- ・日本だけでなく世界の問題を知れて関心が高まった・SDGsは身近な問題と分かった
- ・授業を通して自分たちにもできる取組があり生活の中で意識したい
- ・自分たちにできる小さなことでもこれから継続したい・SDGsに関する活動に参加したい
- ・SDGsについてもっとよく知りたい

活動後にアンケートをとった結果, 2学年の半数以上がSDGsに興味があると回答し, 学校外ではSDGs関係の活動に参加したことや, 実践したことはあまりないとの回答が半数以上でしたが, 90%以上の生徒が自分にも何かできることがあるのではないかという思いがあり, SDGsの活動に参加してみたいと回答していました。

今回の活動から, 環境問題や, 持続可能な社会へ関心があり, 持続可能な社会の実現に向け, 自分たちにできる取組をしてみたいと考え, SDGsを意識しながら行動する必要性を学ぶことができました。